

第3回学校運営協議会 議事録 2月17日(火)

出席者	内藤 貴夫	下飯田東部自治会会長
	神田 浩明	P T A会長
	石原 敬彦	同窓会会長
	渡邊 英裕	学校長
	手島 俊樹	元教育長、元校長
	佐々木 南実	都留文科大学 文学部国際教育学科 専任講師
	向山 哲央	甲府市地域防災課課長
	井上 雅博	株式会社アドヴォネクト
	高岡 健	甲府市立甲府西中学校校長
学校職員	渡邊 英裕	学校長
	小池 裕美	事務長
	三枝 和博	教 頭
	秋山 岳巨	教 頭
	秋山 裕	教務主任(出張)
	早川 剛裕	進路指導主事
	柏木 洋和	生徒指導主事(出張)
	天野 圭	生徒会主任
	齊藤 正樹	総合企画・研修部主任(欠席)
	平本 圭子	保健主事
	後藤 詠一	総務・教養部主任(欠席)
	野崎 康子	IB教育推薦部主任

※ 協議会に先立ち国際バカロレア履修の3年次生による成果発表を実施

1 開会の言葉(司会)

2 学校長あいさつ

学校運営協議会へのご出席と、1年間にわたる温かいご支援・ご助言への感謝を申し上げます。今年度はIB学習の成果発表や地域・同窓生との連携、土曜講座など多様な協力のもと、教育活動を発展させる取り組みが進んだ。今後も防災教育の充実など、更なる学校運営の改善に向けて意見をいただきたい。

3 会長あいさつ

先ほどのバカロレアの生徒達の成果発表は素晴らしかった。また、過日2年次の総探中間発表会に同窓会として参加させていただいたが、全生徒がそれぞれの探究活動を行っていることにも感銘を受けた。本日の審議もよろしくお願したい。

4 報告事項

① 部活動について 生徒会主任

資料 p. 4～p. 16 参照

② 進路指導について

資料 p. 17～p. 19 参照

③ 保健室・相談室の利用状況について

資料 p. 20～21 参照

④ その他（防災への取り組み等）

資料 p. 23 参照

「報告事項についてのご意見・ご質問」

委員：防災への他の取り組み事例としては、心肺蘇生法や AED の利用法など救命措置の訓練があげられる。

委員：中学校では洪水を想定した訓練なども実施している。

委員：スマートフォンの防災アプリを用いることもあげられる。

5 議事（議長 会長）

（1）後期学校評価アンケート及び令和7年度学校評価報告書について

教頭：資料 p. 24～p. 29 参照

・学校評価アンケート（教員・生徒・保護者）

（教員）業務改善については、他と比べて低い数値ではあるが、前期よりは上昇している。校内研修はより実効性の高いものを考える必要がある。特に学習評価の改善についても課題となる。ボランティア活動や地域への貢献活動はコロナ禍以降低迷しており、適切な情報提供等の促しが必要である。

（生徒）施設・設備に対する要望が多い。また、今年度は外装工事で教室内に日光が届かず、暖房の運用に関する要望も多くなっている。

（保護者）前期・後期と回答の傾向はほぼ変わっていない。生徒や保護者の相談体制に関しては、前期に比べ後期の回答が上昇しており、保健室や年次の取り組みが評価されている。また、文理混合クラスの編成について生徒・保護者ともに一部ではあるが懸念の声がある。

・授業アンケート

前期と比して後期では授業への取り組みをはじめ、多くの生徒が各授業での学習の深まりを実感できていることがうかがえる。

・令和7年度学校評価報告書

以上のアンケート結果等にもとづいて自己評価を行った。達成度については表のとおりである。

委員：ボランティア活動が低いということだが、中学校の夏休みの学習会に、西高の生徒が学習を教えるという活動をしていただいている。このような連携を一緒につくっていったらと思っている。

委員：都留文科大学では IB の教員を目指す大学生が多くいる。実際に西高に訪問させていただいておりお世話になっている。このような大学生と高校生が交流を持つことも考えられる。

（2）令和8年度学校運営基本方針の骨格について

校長：資料 p. 30 参照

令和8年度の学校運営基本方針の骨格として、教育目標の指導重点・努力目標の見直しについて方向性をお話する。先の学校評価報告書にもあるように、（1）についてはその目標を概ね達成できているものと捉えており、学校としてはもう一つ上のステップを目標に定めていきたいと考える。新年度の学校運営協議会で示したいと考えている。

委員：網羅的に書こうとすると難しくなる。関連して短い言葉のキャッチコピー、スローガンのようなもので生徒に伝えるのはどうか。

（3）制服の見直しについて

教頭：資料 p. 31～p. 41 参照

制服検討WGを立ち上げ生徒、保護者、教職員に向けてアンケートを行った。その結果を報告する。現在の制服を変えた方がよいか、という問いに生徒は「はい」180名、「いいえ」144名と予想よりも「いいえ」とする声が多かった。現在の制服のデザインや着心地、機能性等については多くの人が「良い」を選択している。価格については「高い」が多くなっている。自由記述では、ネクタイやリボンの仕様変更、スカートのデザインに関する意見、男子学生服（学ラン）に対する意見が多くなっている。男子のみを対象とした学ランに関する問いでは「ブレザーの方が良い」とする意見が多かった。また、制服の運用に関しては、常に制服着用が全体の3分の2を締め、制服と私服の併用が次点で、制服を廃止し私服とするという意見はごくわずかであった。WGではさらに分析を進め、来年度の初めには制服のコンセプト案を策定し、業者選定・デザイン決定へと進めていきたい。

委員：制服の変更は何年後か。

校長：甲府の現中学1年生がブレザーを選べるようになってきている。この代の生徒が高校入学時すなわち令和10年度から新制服となる。

（4）その他

なし

6 意見交換

委員：自治会として災害対策は最重点項目としている。高齢化が進んでいることもあり令和8年度については今までの対策のノウハウやシステムを再度見直して検討していく予定である。また、高齢者の避難所等としても甲府西高等学校・甲府西中学校に協力を願いたい。先ほど保健室からも感染症の報告があったが、現在はやっているインフルエンザB型については胃腸炎様の症状が出ることがあるのでお気をつけ願いたい。

委員：西高を志望する中学生の1月の状況を見ると定員を割れている状況である。今後どのようにすれば中学生に西高に向いてもらえるか。ざくばらんに話し合える機会があってもいいのでは。

委員：中学生にとって西高は憧れの存在。西中が入学者を増やした取り組みとして11月に行っていたオープンスクールを5月に実施したことが効果があったのでは。

委員：制服を変えたからといって西高の人气が戻るものでもない。西高は難しいというイメージを持たれている向きもある。西高のよさや魅力をわかってもらえるような取り組みの強化を。

校長：文部科学省からは理系人材を育成することを言われているが、在校生に聞くと西高のイメージは英語であると。いろいろなことがきちんとできる学校であるということが魅力として伝わるように工夫をしていく必要がある。

委員：英語が事実であるとすれば、バカロレアを出し過ぎているのかもしれない。

委員：何年か学校に関わらせていただくと、それまでの勉強に偏っている、単位制の運用などといった印象から大分変わった。授業をしたり生徒と話をすると、明るく接してくれる。このようなよさが外に伝わっていない。広報活動を進めていただければ。

校長：バカロレアの成果発表に対してコメントをいただきたい。

委員：会社の経営者として、生徒が既にあれだけレベルの高いことをやっていて会社に入って下積みさせられたら嫌になってしまうのでは。ビジネスで使うようなことも身につけているという印象。今の

時代に非常にマッチしている。

委員：やらされているのではなく、一人ひとりが自分の研究を発表したいという意欲が伝わってきた。ツボに入ると子どもはこのように変わるのだということを実感した。

委員：「話す力」が培われていると感じた。卒業生でも素晴らしい成果を上げている。

委員：4期生ということで、バカロレアの導入から拝見しているが、よくぞここまで育ててくれたという感じ。学習指導要領が近々変わるが、その中身は概念を中心とした探究的な学びという、ほぼIBのカリキュラムと同等である。このようなカリキュラムの考え方が総合的な魅力となっている。

委員：通説を疑うなど研究の手法がしっかりとしていた。失敗の経験が大事。うまくまとめられなかった生徒がなぜ失敗したかを考える。教員が取り繕うのではなく、失敗してもよいという雰囲気。生徒一人ひとりの自由な取り組みを促してもらえれば。

7 連絡事項

(1) 学校運営協議会委員による学校評価について

教頭：学校関係者評価として委員の方々に評価とコメントをいただきたい。メールにて依頼。

(2) その他

校長：委員の皆さまには一年間ありがとうございました。次年度の委員については要綱に再任を妨げないため、再任をお願いする場合がありますがその際には学校から改めて依頼する。

8 閉会の言葉（司会）

令和7年度 第3回学校運営協議会

日 時：令和8年2月17日（火） 15:00～16:30
場 所：山梨県立甲府西高等学校 鳳凰館（1階）

次第

※ 協議会に先立ち国際バカロレア履修の3年次生による成果発表を行います。

（司会 教頭）

- 1 開会の言葉（司会）
- 2 学校長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 報告事項（教育活動報告）
 - ① 部活動について
 - ② 進路指導について
 - ③ 保健室・相談室の利用状況について
 - ④ その他（防災への取り組み等）
- 5 議事（議長 会長）
 - （1）後期学校評価アンケート及び令和7年度学校評価報告書について
 - （2）令和8年度学校運営基本方針の骨格について
 - （3）制服の見直しについて
 - （4）その他
- 6 意見交換
- 7 連絡事項
 - （1）学校運営協議会委員による学校評価について
 - （2）その他
- 8 閉会の言葉（司会）

※ 令和8年度の予定

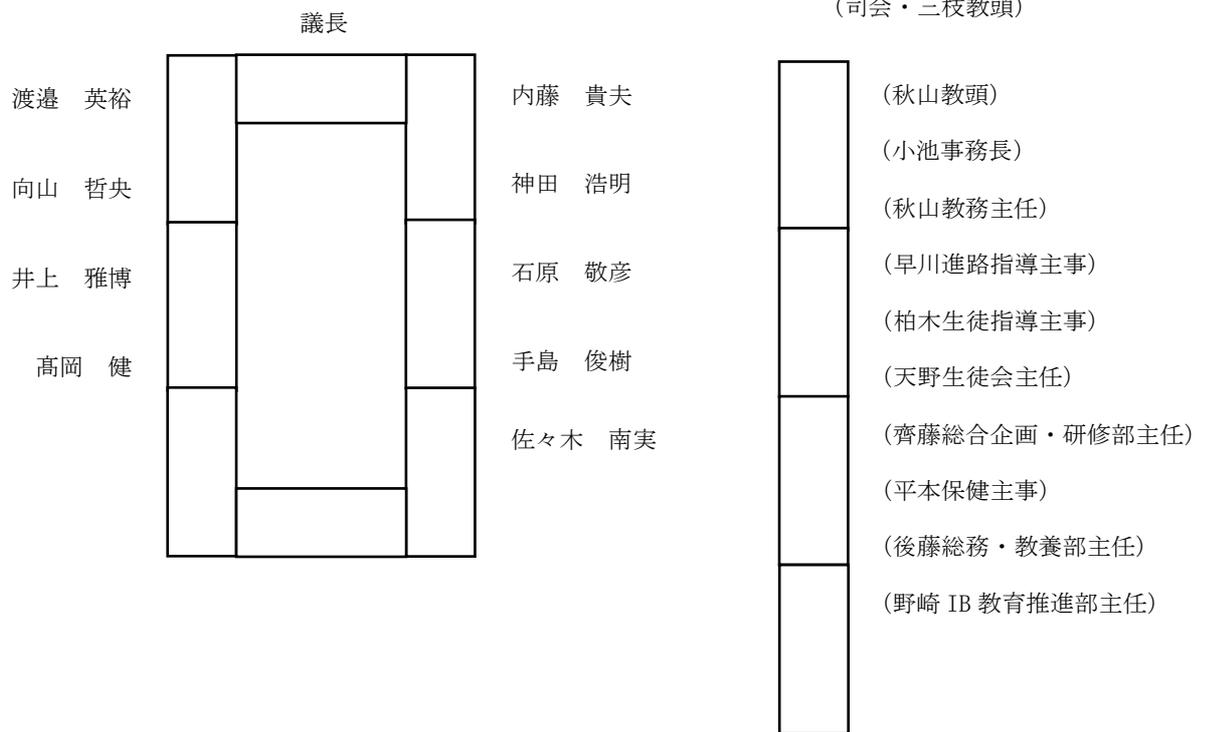
- | | |
|------------|-----------|
| 第1回学校運営協議会 | 4月30日（木） |
| 第2回学校運営協議会 | 10月23日（金） |
| 第3回学校運営協議会 | 2月18日（木） |

令和7年度 甲府西高等学校運営協議会委員

内藤 貴夫	下飯田東部自治会会長
神田 浩明	P T A会長
石原 敬彦	同窓会会長
渡邊 英裕	学校長
手島 俊樹	元教育長、元校長
佐々木 南実	都留文科大学 文学部国際教育学科 専任講師
向山 哲央	甲府市地域防災課課長
井上 雅博	株式会社アドヴォネクスト
高岡 健	甲府市立甲府西中学校校長

座席表

令和8年2月17日（火）
 15:00～
 甲府西高等学校 鳳凰館（1階）



[出入口]

p.4～p.16 部活動について

令和7年度中の部活動の実績についての資料は Web での公開はいたしません。

1 令和7年度 合格状況 (2月10日現在)

【国立大学】

No.	種別	設置	大学	学部	学科・コース
1	総合型	国立	東北大学	工学部	機械知能・航空工学科国際機械工学コース
2	公募	国立	筑波大学	社会・国際学群	社会学類
3	公募	国立	筑波大学	情報学群	知識情報・図書館学類
4	公募	国立	東京農工大学	工学部	応用化学科
5	公募	国立	山梨大学	教育学部	芸術身体教育コース_音楽教育系
6	公募	国立	山梨大学	教育学部	やまなし小学校教育コース
7	公募	国立	山梨大学	教育学部	やまなし小学校教育コース
8	公募	国立	山梨大学	医学部	看護学科
9	公募	国立	山梨大学	医学部	看護学科
10	公募	国立	山梨大学	医学部	看護学科
11	総合型	国立	山梨大学	工学部	工学科 機械工学コース
12	総合型	国立	山梨大学	工学部	工学科 機械工学コース
13	総合型	国立	山梨大学	工学部	工学科 コンピュータ理工学コース
14	公募	国立	山梨大学	医学部	医学科
15	公募	国立	山梨大学	医学部	医学科
16	公募	国立	山梨大学	医学部	医学科
17	公募	国立	信州大学	繊維学部	先進繊維・感性工学科
18	公募	国立	信州大学	繊維学部	機械ロボット学科
19	総合型	国立	信州大学	教育学部	音楽教育コース
20	公募	国立	信州大学	医学部	保健学科_看護学専攻
21	公募	国立	信州大学	医学部	保健学科_検査技師科学専攻
22	公募	国立	新潟大学	歯学部	歯学科
23	公募	国立	神戸大学	経営学部	

【公立大学】

No.	種別	設置	大学	学部	学科・コース
1	指定校	公立	東京都立大学	人文社会学部	人文学科
2	指定校	公立	東京都立大学	システムデザイン学部	情報科学科
3	総合型	公立	横浜市立大学	国際教養学部	国際教養学科
4	指定校	公立	横浜市立大学	国際教養学部	国際教養学科
5	指定校	公立	横浜市立大学	国際商学部	国際商学科
6	公募	公立	横浜市立大学	理学部	理学科
7	公募	公立	山梨県立大学	人間福祉学部	福祉コミュニティ学科
8	公募	公立	山梨県立大学	看護学部	看護学科
9	公募	公立	都留文科大学	教養学部	学校教育学科
10	公募	公立	都留文科大学	文学部	英文学科
11	公募	公立	大阪公立大学	商学部	

1 令和7年度 合格状況 (2月10日現在)

【私立大学】

No.	種別	設置	大学	学部	学科・コース
1	指定校	私立	青山学院大学	経済学部	経済学科
2	指定校	私立	青山学院大学	コミュニティー人間学部	コミュニティー人間学科
3	指定校	私立	北里大学	医学部	医学科
4	指定校	私立	実践女子大学	生活科学部	生活文化学科
5	指定校	私立	中央大学	経済学部	公共・環境経済学科
6	指定校	私立	中央大学	商学部	会計学科
7	指定校	私立	津田塾大学	学芸学部	国際関係学科
8	総合型	私立	中央大学	法学部	法律学科
9	指定校	私立	東京電機大学	未来科学部	ロボット・メカトロニクス学科
10	指定校	私立	明治大学	政治経済学部	政策学科
11	指定校	私立	明治学院大学	経済学部	経済学科
12	指定校	私立	明治学院大学	国際学部	国際学科
13	指定校	私立	山梨学院大学	健康栄養学部	管理栄養学科
14	指定校	私立	早稲田大学	教育学部	教育学科
15	指定校	私立	早稲田大学	創造理工学部	環境資源工学科
16	公募	私立	順天堂大学	薬学部	薬学科
17	総合型	私立	テンプル大学ジャパン	大学学部課程	
18	総合型	私立	大谷大学	文学	真宗
19	総合型	私立	同志社大学	グローバルコミュニケーション学	グローバルコミュニケーション学科
20	総合型	私立	東京薬科大学	薬学部	
21	総合型	私立	同志社女子大学	生活科学部	食物栄養科学科

【専門学校】

No.	種別	設置	学校
1	一般	私立	KADOKAWAアニメ声優アカデミー
2	一般	私立	静岡医療科学専門大学校

【就職】

1	一般	山梨県職員	行政職
---	----	-------	-----

2 設置別・選抜方式別合格状況

	国立大学	公立大学	私立大学	専門学校	就職	総計
学校推薦型選抜 (指定校)		4	14			18
学校推薦型選抜 (公募)	18	6	1			25
総合型選抜	5	1	6			12
一般選抜				2	1	3
総計	23	11	21	2	1	58

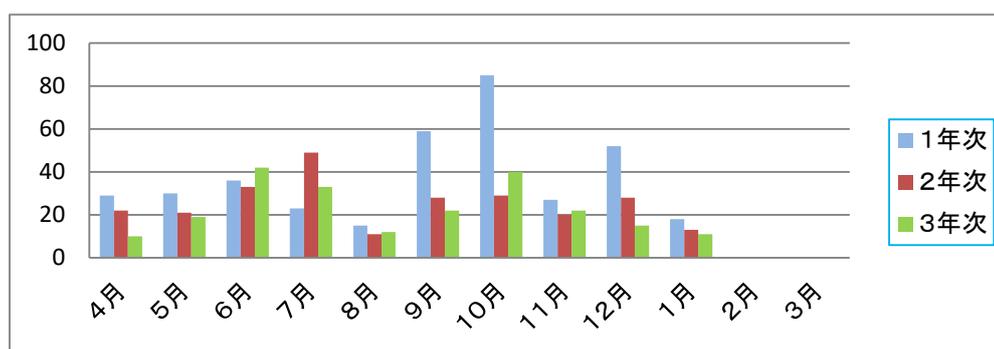
令和7年度 保健室相談室利用状況

☆ 期間 令和7年4月8日～令和8年1月31日

☆ 利用者として統計をとった対象者は、何らかの身体的・精神的な訴えを持って保健室を訪れた生徒。付き添い、書類の手続き等で来室した生徒は含まない。

1 月別利用状況

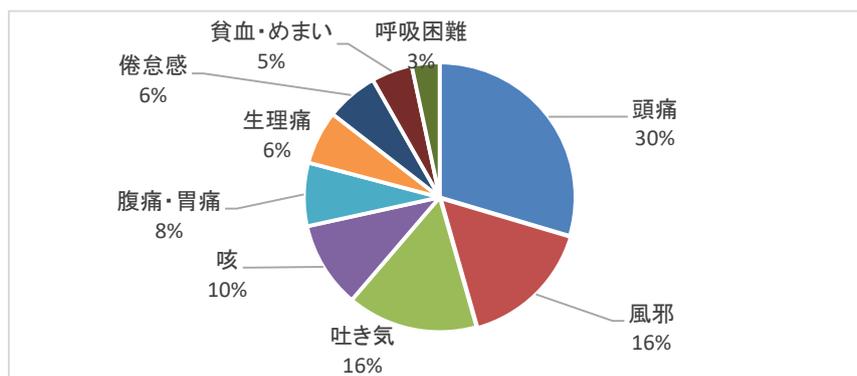
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年次	29	30	36	23	15	59	85	27	52	18			374
2年次	22	21	33	49	11	28	29	20	28	13			254
3年次	10	19	42	33	12	22	40	22	15	11			226
合計	61	70	111	105	38	109	154	69	95	42	0	0	854



2 症状別利用状況

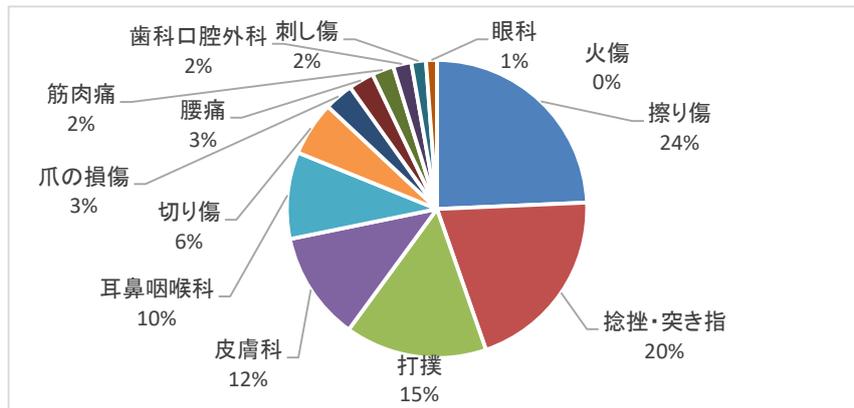
1) 内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭痛	6	17	25	23	6	8	27	15	19	6			152
風邪	2	4	1	6	0	17	22	6	20	4			82
吐き気	4	12	11	7	5	12	12	8	6	3			80
咳	3	6	1	11	2	0	9	6	10	5			53
腹痛・胃痛	4	1	4	6	2	9	3	3	2	5			39
生理痛	2	5	7	3	1	4	4	1	3	3			33
倦怠感	3	1	1	1	0	3	6	6	10	1			32
貧血・めまい	5	4	1	3	2	3	6	0	1	0			25
呼吸困難	1	0	3	2	0	7	2	2	0	0			17
合計	30	50	54	62	18	63	91	47	71	27	0	0	513



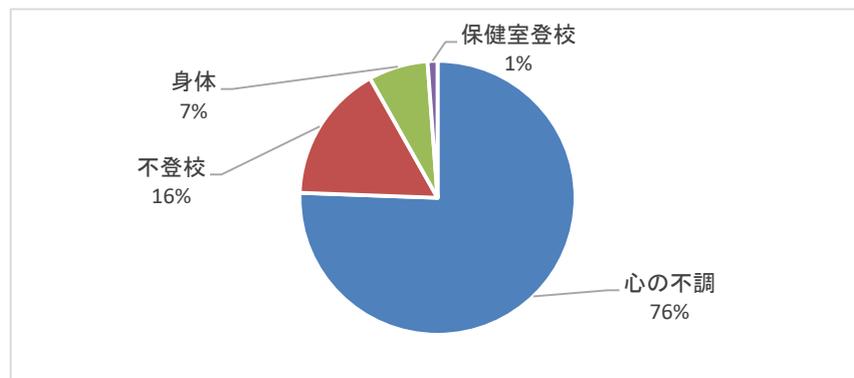
2) 外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
擦り傷	10	6	9	7	3	6	9	3	5	4			62
捻挫・突き指	3	2	6	5	0	0	22	7	3	4			52
打撲	4	0	2	4	1	3	16	5	2	2			39
皮膚科	0	2	8	8	4	1	2	1	4	0			30
耳鼻咽喉科	6	6	4	1	1	0	1	1	2	2			24
切り傷	0	0	7	0	0	4	1	1	2	0			15
爪の損傷	0	0	2	0	0	1	1	1	2	1			8
腰痛	0	1	1	1	3	0	0	0	1	0			7
筋肉痛	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0			6
歯科口腔外科	1	0	1	0	0	2	0	1	0	0			5
刺し傷	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0			4
眼科	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1			3
火傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
合計	25	18	47	26	12	20	52	20	21	14	0	0	255



3) 相談

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心の不調	4	2	8	17	5	19	4	2	3	1			65
不登校	1	0	0	0	3	5	5	0	0	0			14
身体	1	0	1	0	0	2	2	0	0	0			6
保健室登校	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0			1
合計	6	2	10	17	8	26	11	2	3	1	0	0	86



利用者の傾向

- ①昨年度1月末までと比較すると利用者数は15名ほど増加した。10月、9月、6月の利用者が多かった。体育祭など行事に伴う怪我、暑さや感染症による体調不良などが考えられる。また日常生活の不調(睡眠不足や運動不足など)によるものが多かった。
- ②保健室での相談内容は精神面の相談86件であった(心の不調65件、不登校傾向14件、身体面6件、保健室登校1件)。継続的に相談が必要な生徒にはスクールカウンセラーとの面談を勧めた。
- ③スクールカウンセラーとの面談を受けたのは生徒63人、保護者7人(延べ人数)。生徒・保護者からのスクールカウンセラーとの面談希望は年々増加傾向にあり、継続した支援を要する生徒も増えている。

月別相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生徒	4	6	9	6	2	11	12	2	7	4			63
保護者	0	0	0	0	0	5	0	0	1	1			7

令和8年度 防災への取り組みについて

生徒指導・生徒会指導部

第1回防災避難訓練

日時：令和8年4月10日（金） LHR（13：05～14：10）にて

訓練目的：火災や地震が発生あるいは発生が予見される時、的確に対処し自己の安全が確保できるよう確実な防災意識を養うことを目的とする。

実施内容：

(1) 図上訓練

① 校内の避難経路の確認

生徒調査指導票を配付して、裏面の帰宅ルート、徒歩帰宅方法等についての確認を行う

② 生徒個人調査票で「地震等の災害時に学校から徒歩で帰宅する場合」の確認

③ 通学方法や住所が変わった生徒の確認

④ 緊急時の飲料水と非常食料の備蓄がしてあることを説明

卵・小麦粉・牛乳についてのアレルギーがある生徒について確認

(2) 能登地震や東日本大地震などを踏まえ、この地域で発生が想定される大地震（東海地震）の対策について説明

(3) 緊急連絡メッセージ送信訓練 Teams チャットにて担任の先生に送信→確認

第2回防災避難訓練

日時：令和8年9月1日(火)～9月4日(金)のいずれかの日・時間に実施の予定（抜き打ちで実施）

訓練目的：大規模な地震が発生したことを想定のもと、避難訓練をおこなう。地震予知から発災後までの県下一斉の実践的な防災訓練の一環として、防災意識の高揚と防災体制の確立強化を図る。

実施内容：

(1) 避難経路に従い、整然かつ迅速な安全避難の習慣・態度を養わせる。

(2) 災害用伝言ダイヤル（171）の利用。

(3) Teams チャットを使用し、安否確認の実施。防災訓練実施日の帰宅直後に担任へ送信する。

令和7年度 学校評価アンケート結果【後期】（教員）

回答数 39

1:そう思う、2:どちらかといえばそう思う、3:あまりそう思わない、4:そう思わない、5:よくわからない

番号	評価項目	回答(%)					
		1	2	3	4	5	無回答
学校経営・学校事務	1 校長は生徒の実態にあった教育方針・教育理念を掲げている。	56.4	43.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	2 校長は教育方針や教育理念を実現するためにリーダーシップを発揮している。	61.5	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	3 教頭は各分掌及び年次主任また教職員と意思の疎通を図り、円滑で実効性のある学校運営に努めている。	59.0	41.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4 各分掌及び年次主任は所属職員をまとめ意欲的に取り組める環境づくりを行っている。	35.9	53.8	7.7	0.0	2.6	0.0
	5 職員会議をはじめ各種会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能している。	30.8	51.3	10.3	2.6	5.1	0.0
	6 災害、事故、事件、いじめ等に対して実効的なマニュアルが整備され、緊張感のある訓練がなされている。	30.8	51.3	17.9	0.0	0.0	0.0
	7 生徒の個人情報(成績・家庭環境・病歴など)が適切に管理されている。	48.7	46.2	2.6	0.0	2.6	0.0
	8 感染症等による欠席時のフォローなど、適切な学習支援がなされている。	51.3	48.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	9 生徒と向き合うための時間確保に向けて業務改善が進んでいる。	10.3	53.8	30.8	2.6	2.6	0.0
研修・研究	10 校内研修や相互授業参観が計画的に行われ、自己の授業改善に生かすことにより、授業力の向上に結びついている。	12.8	59.0	25.6	0.0	2.6	0.0
	11 総合的な探究の時間「鳳凰学」及び課題論文は、3年間を通して計画的に行われている。	20.5	53.8	12.8	0.0	12.8	0.0
	12 望ましい勤労観や職業観を育成するためのキャリア教育が適切に行われている。	12.8	69.2	12.8	0.0	5.1	0.0
教育課程	13 学習指導要領に基づき、生徒の実態にあった教育課程となっている。	25.6	69.2	5.1	0.0	0.0	0.0
	14 65分授業を活かした授業改善が進んでいる。	23.1	66.7	7.7	0.0	2.6	0.0
	15 学校行事が適切に配置され、安全対策を行い計画的に実施されている。	25.6	69.2	2.6	0.0	2.6	0.0
教科指導	16 シラバスが生徒の学習活動の指針となり、明確な評価規準のもと学習状況を適切に評価している。	12.8	66.7	17.9	0.0	2.6	0.0
	17 探究的学習を意識した授業改善に取り組んでいる。	20.5	61.5	12.8	0.0	5.1	0.0
	18 ポートフォリオ等を利用して生徒を多面的に捉える評価を行っている。	12.8	53.8	25.6	2.6	5.1	0.0
	19 生徒の自主的・主体的な学習を育むための適切な課題や課外活動に取り組んでいる。	15.4	74.4	10.3	0.0	0.0	0.0
広報・情報	20 中学生を対象とした広報活動は、計画的かつ適切な内容で、タイムリーに行われている。	10.3	69.2	15.4	2.6	2.6	0.0
	21 ホームページが充実しており、学校の教育活動の内容が保護者等に適切に発信されている。	10.3	66.7	15.4	5.1	2.6	0.0
	22 情報機器の有効活用が図られ、効率的な授業実践に取り組んでいる。	23.1	71.8	5.1	0.0	0.0	0.0
生徒指導	23 生徒指導の重点的指導内容や日常の指導について、職員全員に説明がなされ、共通理解が得られている。	2.6	79.5	15.4	2.6	0.0	0.0
	24 交通指導や交通安全教育などが適切になされ、交通事故・違反の防止に繋がっている。	17.9	76.9	5.1	0.0	0.0	0.0
	25 いじめアンケート等を計画的に行い、いじめ防止に努めるとともに、生徒の生活の様子にも日常的に注意を払っている。	41.0	56.4	0.0	0.0	2.6	0.0
	26 事故や事件が発生した場合の連携や連絡体制が整備され実践されている。	28.2	64.1	5.1	0.0	2.6	0.0
保健安全	27 生徒が抱える悩みや情報が年次や職員間で十分共有され、連携した指導がなされている。	35.9	61.5	2.6	0.0	0.0	0.0
	28 生徒の悩みや相談には、共感的姿勢・態度を持ってあたっている。	35.9	61.5	0.0	0.0	2.6	0.0
	29 生徒が悩みなどを気軽に相談できる教育体制が整備され、必要な生徒・保護者に活用されている。	33.3	64.1	0.0	0.0	2.6	0.0
	30 感染症対策や、施設設備の点検・整備が行われている。	28.2	66.7	5.1	0.0	0.0	0.0
特別活動	31 道徳教育の視点を盛り込んだLHRが行われている。	2.6	61.5	17.9	5.1	12.8	0.0
	32 LHRが人間としての生き方・在り方について考えさせる教育の場として活用されている。	12.8	59.0	12.8	5.1	10.3	0.0
	33 生徒の学習活動と部活動の両立のための工夫・努力がなされている。	7.7	79.5	10.3	0.0	2.6	0.0
	34 学園祭等の生徒会活動が、生徒の自主性や社会性を育成する場となっている。	33.3	61.5	2.6	0.0	2.6	0.0
	35 ボランティア活動や地域への貢献活動が進んでいる。	5.1	33.3	46.2	5.1	10.3	0.0
	36 各々の学校行事は、年間計画に基づきねらいを明確にして実施されている。	15.4	79.5	2.6	0.0	2.6	0.0

番号	評価項目	回答(%)						
		1	2	3	4	5	無回答	
進路指導	37	講演会やガイダンスが適切に実施されたり、生徒や保護者に進路情報が、随時、提供されたりしている。	20.5	74.4	2.6	2.6	0.0	0.0
	38	模擬試験が適切に実施され、事後の指導に効果的に生かされている。	28.2	61.5	10.3	0.0	0.0	0.0
	39	課外や土曜講座が計画的に実施され、生徒の学力向上に生かされている。	17.9	59.0	17.9	5.1	0.0	0.0
	40	二者、三者懇談などの個別指導が年間を通して計画的に行われ、適切な進路指導が行われている。	35.9	61.5	2.6	0.0	0.0	0.0
年次	41	各分掌と年次間の連携が円滑に行われている。	17.9	61.5	15.4	0.0	5.1	0.0
教養	42	図書館が授業や生徒の学習に有効に活用されている。	23.1	64.1	7.7	2.6	2.6	0.0
	43	生徒の図書館の利用向上に向けて、適切な啓発活動が行われている。	28.2	53.8	12.8	2.6	2.6	0.0
本年度の重点目標	44	学び方を学ばせる視点のもと、主体性を引き出す深い学びを推進し、批判的な思考を通して、本質を粘り強く追究しようとする探究的に学びとる力の育成に努めている。	23.1	64.1	12.8	0.0	0.0	0.0
	45	生徒の自己実現を図る進路目標の設定とその達成に向けた取組を支援し、生徒が自分の立ち位置を知り、自己の可能性を切り拓く意欲の醸成に努めている。	28.2	61.5	7.7	0.0	2.6	0.0
	46	部活動や学校行事、学校外活動など、様々な経験ができる機会を提供し、他者を思いやり認め合いながら、人との関わりの中で生徒が成長できるよう努めている。	30.8	69.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	47	PTA・同窓会・地域・高等教育機関などとの連携を深め、国際バカロレアの趣旨を生かすなど、時代のニーズに応える特色ある教育活動の構築と推進に努めている。	20.5	71.8	5.1	0.0	2.6	0.0
自由記述	【35】ボランティア活動や地域への貢献活動について、コロナ禍以降低迷しているように感じる。生徒が自主的に動くべきことではあるが紹介しないと動かないのも現実であるので、委員会共々促しが必要だと感じる。							
	【14】65分授業そのものは私個人にとっては好都合な授業形態であると思っておりますが、週当たりのコマ数が少ない教科は、カレンダーや学校行事などの事情により授業コマが削られたときに、授業進度において大きな痛手となっています。授業者側では、期間あたりのコマ数を確認しながら、授業の進め方を計画・実施していますが、いかんともしがたい場面が多々ありました。授業コマ数を確保するため、年間計画的に定期試験間のコマ数、夏休みや冬休み前までのコマ数をチェックし、A週B週の割り振り、曜日の振り替え、とくに月曜日の他曜日への振り替え、といった対応が現状以上に細やかに行われるとよいのでは、と思っております(非常勤講師が多い現状で、教務的に困難があるのは承知していますが)。また、65分授業が効果的な教科と不向きな教科もあるように感じられます(あくまで個人的な感想)。生徒についても同様です。65分の形態を設立した時代から今日にかけて、常に生徒の実情は変遷しており、改変という結論ありきではなくて、65分のメリット・デメリットを総点検し、改善を図ることも必要と思っております。							
	【5】会議が長時間に及んでしまうことから、授業時間を短くして時間確保をということでご配慮いただいておりますが、会議を短くするにはどうしたらよいかということを検討する必要があると思っております。例えば、職員会議において連絡事項で発言を必要とする分掌のみ【連絡有り】と記載し、それ以外は各教員が読んで把握する方法もあるのかなと思っております。(資料に書いてあることはそれぞれが読む責任を負うという認識で。)もしくは読む時間を会議内で取り、全体を通して質問を聞くなども方法の一つかもしれません。議すべきことにはしっかり時間を使い、それ以外ではなるべくさまざまな会議を短く済ませようという意識を共有することが必要な気がします。							
	【21】ホームページの更新について、行事や大会結果など出なくても、日常の様子なども時折更新し、授業の内容や学校の雰囲気を伝える。							
	【11】鳳凰学の3年間の見直しについて、2、3年生については、これまで通りの流れでわかるが、1年生についてはこれまで「山梨に生きる」というテーマで、山梨に限定してやっていた活動がなくなった分、2、3年次でどのような活動をするのか、よくわかっていない。							
	【20・21】本校は年度初めに学校パンフレットを作成してないかと思っておりますが、6月に行われている甲斐ゼミ主催の高校説明会では多くの高校のパンフレットが配布されています。そして多くの保護者と生徒が参加しています。塾に迎合するわけではありませんが、保護者や生徒目線でその際に西高の情報が何も無いのは気になりました。パンフレットでなくてもいいかと思っておりますが、6月の時点で広報活動に乗り遅れない手立ては打った方がいいかと思っております。また、生徒や保護者の情報収集ツールとしてはホームページがあるかと思っております。本校のホームページは更新がなかなかされていないのが課題だと思います。日々の些細な出来事や行事の様子をブログに発信していきたいです。担当の先生が一人でアップとなると日々の更新のハードルが上がると思うので、全職員、もしくは複数の担当でアップできるよう、またリアルタイムでの発信ができるように、Teamsで内容や写真の決済をいただけるようにすれば、頻度とスピードが上がるのではないかと思います。							
	【14】短縮が多くて65分のメリットが感じられません。安易に短縮にしないでいいと思います(生徒総会の日、職員会議のためなど)。単位数の少ない授業はテスト範囲に影響が出ます。							
	【23】スマホの使用や服装などの指導が年次によって温度差があるので、共通理解が得られるようにしてほしいです。							
	【33】生徒の学習活動と部活動の両立のための工夫・努力について、私自身を顧みても、何かと何かの両立を自主性や自己調整に任せてしまうと、結果両立できない生徒が多くなっているように思います。競技や部の特性もありますが、教員の方から生徒とよく対話し、部活動と部活動以外の生徒の時間の使い方の割合を調整してあげて、生徒が求める時間の中で部活動に打ち込ませるようにはすべきではないでしょうか。3年生が部活動引退後、勉強が間に合わず伸び悩み、苦しんでいる生徒が一定数いると思います。本校は今、教員側からマネジメントすることが必要な時ではないでしょうか。							
	三者懇談で文理混合クラスについて複数ご意見いただきました。主に進路実現のためには、文理混合クラスは適切ではないというご意見でした。生徒にとって、また教員にとって、さまざまな面からメリット・デメリットを検討し、本当に必要なことは何か、優先すべきことはなにかを考える必要があるのではないかと改めて感じました。							

令和7年度 学校評価アンケート結果【後期】（生徒）

回答数 404

1:そう思う、2:どちらかといえばそう思う、3:あまりそう思わない、4:そう思わない、5:よくわからない

番号	評価項目	回答(%)					
		1	2	3	4	5	無回答
1	学校は、一人ひとりの生徒を大切にできる姿勢で指導にあたっている。	57.4	35.4	4.5	1.2	1.5	0.0
2	先生方は、悩みや相談について、いつでも親身にに応じてくれている。	57.9	35.4	3.2	0.5	3.0	0.0
3	個人のプライバシーに関する情報は守られている。	65.3	28.2	3.2	0.2	3.0	0.0
4	自分の進路希望や習熟度に応じて、学習する教科・科目が準備されている。	51.0	36.4	6.9	2.7	3.0	0.0
5	先生方は、学習のねらい(目標)が達成できるように、授業に取り組んでいる。	49.5	40.8	4.7	1.0	4.0	0.0
6	先生方は、学習が深まるような指導の工夫をしてくれている。	47.3	44.3	6.4	1.2	0.7	0.0
7	先生方は、個別の質問に答えたり、日頃の学習のサポートをする指導を適切に行ったりしてくれる。	58.2	35.6	3.0	1.0	2.2	0.0
8	先生方は、いろいろな観点を取り入れた公正で公平な学習評価をしている。	54.5	35.6	4.2	2.0	3.7	0.0
9	普段の指導の中で生徒の自主性、自律性が尊重されている。	57.4	36.1	3.7	2.0	0.7	0.0
10	校内の規律が保たれ、生徒の生活の安全が確保されている。	59.4	35.1	3.7	0.7	1.0	0.0
11	感染症拡大や地震、火災などの発生に備えた指導や対策が適切に行われている。	39.6	44.3	8.2	3.2	4.7	0.0
12	ボランティア活動や地域貢献活動等に参加しやすい体制になっている。	32.7	34.2	20.0	4.5	8.7	0.0
13	教育相談やカウンセリング体制が、利用しやすい体制になっている。	35.4	34.4	12.6	3.7	13.9	0.0
14	安全対策を行い学校行事は適切に実施されている。	65.1	31.4	1.0	0.5	2.0	0.0
15	部活動と学習との両立が配慮され、部活動に取り組みやすい環境が整えられている。	42.6	39.9	10.9	3.0	3.7	0.0
16	行事の企画や運営において、生徒の意見や主体性が尊重されている。	69.6	26.7	2.0	0.7	1.0	0.0
17	健康管理や病気予防に関する指導が適切に行われている。	51.5	41.8	3.7	1.0	2.0	0.0
18	校内の施設・設備が安全な状態に保たれている。	22.3	29.2	30.0	14.9	3.7	0.0
19	環境美化・清掃活動が十分に行われ、清潔な生活環境が保たれている。	35.9	43.1	13.6	5.7	1.7	0.0
20	土曜講座、課外などの学力向上対策がしっかり行われている。	50.7	37.6	4.2	5.4	2.0	0.0
21	自己の進路を考えるための講演会やガイダンスなどが適切に行われている。	56.7	35.4	5.4	1.2	1.2	0.0
22	進路関係の情報が、活用しやすく整理されて提供されている。	49.0	37.9	7.9	1.2	4.0	0.0
23	二者、三者懇談などの個別指導は、年間を通して計画的に行われ、適切なアドバイスを受けることができている。	60.4	33.2	2.2	2.2	2.0	0.0
24	「鳳凰学」は年間をととして計画的に行われ、自己の進路選択に生かされている。	39.9	33.4	14.9	7.4	4.5	0.0
25	「LHR」などのHR活動は、自己の生活や集団の中の自己のあり方を考える機会になっている。	39.6	33.7	14.1	8.4	4.2	0.0
26	ホームページや年次だより、HR通信などを通して、学校や年次、クラスの情報が適切に提供されている。	54.2	37.1	4.5	1.2	3.0	0.0
27	授業等でコンピュータなどのICT機器が、有効に活用されている。	48.3	36.4	10.6	3.5	1.2	0.0
28	図書館は、落ち着いて利用しやすい雰囲気になっている。	70.3	18.1	0.2	0.0	11.4	0.0
29	感染症などによる欠席時に、必要な学習支援が適切に行われている。	40.6	35.9	10.9	4.0	8.7	0.0
30	全体として、楽しく充実した学校生活をおくっている。	62.9	31.2	2.5	2.0	1.5	0.0

学校への要望 (Copilotによるカテゴライズおよび整理済み)

授業関連	<ul style="list-style-type: none"> 課題量が多すぎる 他教科との調整を求める意見 授業の質を高めてほしい 3年次の日程(週1登校が共通テスト後すぐに) 個別相談のしやすさ
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> トイレ改修(明るい雰囲気・便座を温かくする) 雨漏りへの対応 内装・床・壁の修繕(鳳凰館2Fの畳の張り替え含む) 自習室の環境(埃っぽい・雰囲気が暗い) LED照明 給水器・浄水器・アイスの自販機 体育館やグラウンドの照明設備
空調・室温	<ul style="list-style-type: none"> 暖房を終日つけてほしい ストーブの使用時間を長く 朝のエアコンが使えない 教室が寒くて集中できない
文理混合	<ul style="list-style-type: none"> 3年次は文理別にしてほしい 移動教室が多い 情報共有がしにくい

令和7年度 学校評価アンケート結果【後期】（保護者）

回答数 478

1:そう思う、2:どちらかといえばそう思う、3:あまりそう思わない、4:そう思わない、5:よくわからない

番号	評価項目	回答(%)					
		1	2	3	4	5	無回答
1	(基本的な姿勢):学校は、一人ひとりを大切にす姿勢で指導にあたっていると思いますか。	43.5	45.4	4.4	0.8	5.9	0.0
2	(個人情報):プライバシー保護の観点から、生徒の個人情報に関する配慮がなされていると思いますか。	46.7	43.1	2.1	0.4	7.7	0.0
3	(広報活動):本校の教育活動についての情報がホームページ、年次だより、n-stage等で適切に発信されていると思いますか。	43.1	49.0	4.6	0.4	2.9	0.0
4	(教育活動の連携):日常の教育活動に、保護者や地域の意見や要望が取り入れられていると思いますか。	24.7	36.6	9.2	1.5	28.0	0.0
5	(学習指導):学習指導は充実しており、学力向上に十分な成果をあげていると思いますか。	33.5	46.7	9.0	2.3	8.6	0.0
6	(学習評価):あなたのお子さんの学習評価は、さまざまな観点を取り入れられ適切に行われていると思いますか。	37.9	49.8	3.1	0.4	8.8	0.0
7	(生活指導):生活指導は充実しており、規範意識や社会性の育成に十分な成果をあげていると思いますか。	36.0	49.0	2.7	1.5	10.9	0.0
8	(個への対応):一人ひとりへの理解を深め、自主性、自律性を高めるような生徒指導がなされていると思いますか。	38.9	46.7	4.4	1.7	8.4	0.0
9	(学校生活):あなたのお子さんは、学校が楽しいと感じ、生き生きと生活をしていると思いますか。	44.1	42.7	9.0	1.9	2.3	0.0
10	(安全教育):交通安全、防犯、防災など身の回りの安全に対する指導が適切に行われていると思いますか。	35.1	49.6	5.0	1.0	9.2	0.0
11	(大規模災害):大地震などの大規模災害に備えて、学校では生徒への指導や保護者・地域との連携による防災活動が適切に行われていると思いますか。	21.8	39.5	7.7	1.0	29.9	0.0
12	(PTA活動):保護者の学校行事等に対する協力体制は整っていると思いますか。	30.5	49.8	3.8	0.2	15.7	0.0
13	(自主的活動):部活動や生徒会行事に対し、学校は生徒への十分な指導と支援を行っていると思いますか。	40.2	45.6	5.0	1.7	7.5	0.0
14	(心の健康):生徒や親の悩みを相談できる体制が整っていると思いますか。	32.6	41.8	6.5	2.1	16.9	0.0
15	(進路指導):進路指導は、生徒・保護者のニーズに応じ、適切な対策がなされていると思いますか。	35.4	46.7	5.0	1.9	11.1	0.0
16	(進路情報):進路についての情報提供や講演会実施などが効果的に行われていると思いますか。	31.4	47.9	6.9	1.9	11.9	0.0
17	(個別指導):三者懇談等を通じて、保護者と連携した適切な指導が行われていると思いますか。	48.1	42.5	4.6	0.8	4.0	0.0
18	(学校行事):安全対策がなされ、学校行事が適切に実施されていると思いますか。	45.6	45.4	1.9	0.6	6.5	0.0
19	(ICT活用):様々な場面で、本校におけるICTの活用が推進されていると思いますか。	30.1	41.0	6.1	0.8	22.0	0.0
20	(評価総括):全体として、学校の指導方針や指導体制は適切であると思いますか。	42.9	47.3	2.1	0.8	6.9	0.0

意見・感想(Copilotによるカテゴリズおよび整理済み)

感謝・評価	<ul style="list-style-type: none"> 先生の個別対応・面談・進路支援(親身・丁寧・熱心、面談の質が高いなど) 学校全体の雰囲気/支援体制(一体となって応援してくれる) 行事の運営・参観(様子が分かり安心) 日々の連絡や働きかけ(“いつもありがとうございます”の声)
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> 雨漏りや古いトイレの改修を進めてほしい 校舎の老朽化が気になる。避難所指定としての安全性が心配 教室前方だけでも遮光カーテンにして、スクリーンを見やすくしてほしい (部室)雨漏りで荷物や道具が濡れる。設備の見直しを 校内(西側)が暗い時間帯があり、防犯・事故が心配
空調・暖房	<ul style="list-style-type: none"> 暖房が途中で切れて寒い。1日を通して室温管理をお願いしたい 今年は工事の影響もあり一段と寒かった。使える日は暖房を積極的に使ってほしい 冷暖房の積極的な使用を。工事がない日・場所では使えるように ダウンを着たまま授業という時間があると聞く。体調管理への配慮を
授業・学習環境	<ul style="list-style-type: none"> 課題が多すぎてやりたい勉強に手が回らない。効率的な学習へ見直しを 英語はレベル別のクラス分けで個々の学力向上につなげてほしい 進路情報・推薦情報は早めに公平に。2年次の段階でも講演会・情報提供を ICTの活用(スタディサプリ/atama+等の導入検討)。校内Wi-Fi接続も柔軟に BLENDから相談できるフォームがあると、個別相談のハードルが下がる
運営方針等	<ul style="list-style-type: none"> 3年次の文理混合にメリットを感じない 要望を届ける仕組みがほしい。参観の周知は早めに 自転車のヘルメット着用や一時停止の指導徹底を 部活動の時間管理・下校時刻の徹底を 学校HPの更新頻度を上げ、行事や進路の様子を写真付きで発信してほしい

令和7年度 前期 授業アンケート総計

回答者総数

1268

回答数

	1:強くそう思う	2:そう思う	3:そう思わない	4:全く思わない
① 自ら学習課題や学習方法を選択して自主的、自発的に学習に取り組むことができた	36.9%	56.0%	5.3%	0.6%
② 活用や探究など、学んだことを別の場面で使うようにすることができた	38.7%	50.9%	9.2%	0.4%
③ 授業や単元の始まりに目標を確認することができた	35.9%	51.9%	10.6%	0.9%
④ 授業や単元の終わりに目標の達成度を自己評価することができた	31.6%	50.9%	15.5%	1.2%
⑤ 授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた	30.4%	40.5%	24.4%	3.9%
⑥ 授業の中で課題解決に向けて自分から取り組んでいる	36.2%	56.8%	6.0%	0.1%
⑦ 授業の中で各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った	31.7%	55.9%	11.6%	0.9%
⑧ 他の生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	45.2%	42.1%	10.6%	1.3%
⑨ 学習した内容について、分かった点や、分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた	38.4%	49.5%	8.8%	1.0%

令和7年度 後期 授業アンケート総計

回答者総数

1147

回答数

	1:強くそう思う	2:そう思う	3:そう思わない	4:全く思わない
① 自ら学習課題や学習方法を選択して自主的、自発的に学習に取り組むことができた	47.2%	48.6%	4.6%	0.7%
② 活用や探究など、学んだことを別の場面で使うようにすることができた	35.0%	55.3%	10.0%	1.0%
③ 授業や単元の始まりに目標を確認することができた	36.9%	53.0%	10.6%	0.7%
④ 授業や単元の終わりに目標の達成度を自己評価することができた	34.4%	50.8%	14.9%	0.9%
⑤ 授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた	35.5%	43.9%	19.0%	2.8%
⑥ 授業の中で課題解決に向けて自分から取り組んでいる	42.0%	54.1%	4.6%	0.6%
⑦ 授業の中で各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った	34.3%	57.0%	9.1%	0.7%
⑧ 他の生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	52.7%	41.1%	5.0%	1.2%
⑨ 学習した内容について、分かった点や、分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた	44.8%	51.0%	4.1%	0.5%

様式1 令和7年度 山梨県立甲府西高等学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	自主・自律の精神と創造性を尊び、幅広い知性と豊かな人間性の涵養を図るとともに、常に自己と社会をよく見つめ、高い理想のもと広く社会で活躍する人材を育成する。
-----------	---

山梨県立甲府西高等学校校長 渡邊 英裕

本年度の重点目標	1 学び方を学ばせる視点のもと、主体性を引き出す深い学びを推進し、批判的な思考を通して、本質を粘り強く追究しようとする探究的に学びとる力の育成に努める。 2 自己実現を図る進路目標の設定とその達成に向けた取組を支援し、自分の立ち位置を知り、自己の可能性を切り拓く意欲の醸成に努める。 3 部活動や学校行事、学校外活動など、様々な経験ができる機会を提供し、他者を思いやり認め合いながら、人との関わりの中で成長できるよう努める。 4 PTA・同窓会・地域・高等教育機関などとの連携を深め、国際バカロレアの趣旨を生かすなど、時代のニーズに応える特色ある教育活動の構築と推進に努める。
「自分を律し、自己を高めていく」人間力の育成を目指し、右の通り取り組む。	

達成度	A	ほぼ達成できた。(8割以上)
	B	概ね達成できた。(6割以上)
	C	不十分である。(4割以上)
	D	達成できなかった。(4割以下)

評価	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

自己評価						
番号	評価項目	本年度の重点目標	年度末評価(2月17日現在)			
			具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度
1	個別最適な学びや協働的な学び、探究的な学びなどをとおした主体的に学ぶ力の育成	「問いを立て追究する」という生徒の探究力向上を目指し、深い学びを提供する授業改善に取り組む。 教員のICT活用指導力の向上を図り、各教科等の目標を達成するためにICTを活用する。 課題論文やIBを中心に据えながら、探究型学習プログラムや教育課程の開発整備を進める。	教員の自己評価アンケート 教員の自己評価アンケート 教育課程の編成 課題論文の指導計画 学校評価アンケート	・教員は探究的な学びを意識した授業改善を継続的に進め、多くの生徒が学習の深まりを実感できている。 ・ICT 機器の活用意識が向上し、授業および家庭学習で効果的に利用されている。 ・課題研究論文については指導計画を改善し、論文の質が全体として向上した。	A	・教育センターや校内研修を活用し、さらなる授業改善を推進する。 ・教員一人ひとりがより効果的なICT 活用方法を探求するとともに、機器更新への対応が必要である。 ・課題研究が生徒の進路選択の幅を広げよう、生徒の意見を取り入れながら改善を続ける。
2	自分の立ち位置を知り、自己の可能性を切り拓く意欲の醸成	生徒の学力向上に資する指導改善に向け、学びの基礎診断の結果をもとに生徒の基礎学力の分析と学力向上対策を適切に行う。 進路講演会や進路ガイダンスを適切に配し、入試等への理解度を高めるとともに、目標達成に向けた学力向上に資する課外や講座等を効果的に実施する。 目標を意識し、その達成に向けて自主的に取り組む自己管理能力を向上させるため、学習手帳の利用を進め、面談や個別指導等に活用する。	学力到達ゾーン指標の変動 学校評価アンケート 大学等合格状況 学校評価アンケート 学校評価アンケート	・学びの基礎診断や模擬試験結果の分析を共有し、指導改善に活用している。 ・進路講演会やガイダンスを計画的に実施し、生徒の興味関心を高め、進路選択へ良い影響を与えた。 ・学習手帳を活用した自己管理が定着し、適時の面談により個別指導も充実している。	B	・定期試験や基礎診断を踏まえ、教科間で連携し学習量のバランスに配慮した指導を行う。 ・土曜講座の内容や方法を見直し、より効果的な運営を図る。 ・課題の量・内容・時期を調整し、タイムマネジメント能力の一層の向上につなげる。
3	部活動や学校行事、学校外活動などにより、他者を思いやり認め合いながら、人との関わりの中での成長を支援	豊かな人間性や人間関係形成能力の育成を図るため、生徒及び指導者のワークライフバランスの視点から学校行事や部活動等のあり方を見直すことにより、生徒の主体的な取組を促す指導を推進する。 社会の一員としての自覚、社会参画への意欲などの醸成に向け、地域貢献や異校種間交流、ボランティア活動など、様々な体験ができる機会を提供する。 悩みや問題を抱える生徒の早期発見に努め、教職員間及び外部機関との連携を密にして、生徒一人一人の学校生活をサポートする。	学校評価アンケート 行事開催状況 学校評価アンケート 生活実態調査 学校評価アンケート	・学習活動と部活動の両立に配慮し、特に野球部・吹奏楽部などが顕著な成果を上げ、学校全体の活力向上に寄与した。 ・学園祭や体育祭等の行事は安全面に配慮しながら実施され、生徒の主体性を育む機会となった。 ・異校種間交流(例:盲学校学園祭での演奏披露)を実施し、多様な経験を提供することができた。 ・保健安全部と各年次団が連携し、スクールカウンセラーも効果的に活用した。	B	・ICTを活用して業務改善を進め、教員が生徒と向き合う時間をより確保する。 ・部活動の最適な在り方について共通理解を深め、無理のない運営を図る。 ・校外ボランティア等の情報提供を充実させ、参加を促す。 ・悩みを抱える生徒への支援体制を強化し、関係機関との連携を密にしながらプライバシーに配慮した情報共有を進める。
4	PTA・同窓会・地域・高等教育機関などとの連携を深め、国際バカロレアの趣旨を生かした特色ある教育活動の構築と推進	グローバル化の進展やデジタル化による社会の変革など時代の変化などに対応する素養を身に付けさせるため、PTA、同窓会、地域、大学や企業等との連携を図り、各種講演会など多様な学びの機会を提供する。 本校の特色化を図り、知的好奇心や探究心などの育成につなげるため、新入生に対してプレIB講座を実施するなど、IBの良さが共有できる教育活動を展開する。 教育活動の充実改善に生かすため、ホームページを情報発信に留めず、双方向的に利用し開かれた学校づくりに有効に活用する。	学校評価アンケート プレIB講座実績 学校評価アンケート 授業アンケート HPアクセス数 学校評価アンケート	・同窓生や大学と連携した講演会・ガイダンスは生徒にとって有意義であり、特に総探中間発表会では同窓生にアドバイザーとして参加していただくなどの協力を得ることができた。 ・1年次のプレIB講座によりIB への理解と関心が深まった。 ・ホームページ、BLEND、Forms など ICTを活用した情報発信が充実した。	B	・各分野で活躍する同窓生との連携をさらに強化し、多様な学びの機会を提供する。 ・プレIB講座を継続し、IB 生徒による発信を多くの生徒に届ける工夫を行う。 ・ホームページの更新頻度を高め、中学生・保護者に向けた情報発信を強化する。

学校関係者評価	
実施日 (令和8年3月〇日)	
評価	意見・要望等

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。



令和7年度教育目標

山梨県立甲府西高等学校

1 校訓

「自己を知り 自己を深める」

2 教育目標

自主・自律の精神と創造性を尊び、幅広い知性と豊かな人間性の涵養を図るとともに、常に自己と社会をよく見つめ、高い理想のもと広く社会で活躍する人材を育成する。

3 学校経営方針

- (1) 個別最適な学びや協働的な学び、探究的な学びなどをおして主体的に学ぶ力を育成する。
- (2) グローバル化の進展やデジタル化による社会の変革など、時代の変化に対応した教育活動を展開する。
- (3) 学習と部活動の両立を支援し、活力に満ちた学校づくりを推進する。
- (4) 教育相談体制の充実と情報共有を図り、個に応じた指導を推進する。
- (5) 家庭や地域、関係機関との連携を深め、本校教育活動の発展を図る。
- (6) 健康と安全への理解を深め、学習環境と教育設備の整備に努める。

4 指導重点・努力目標

「自分を律し、自己を高めていく」人間力の育成を目指し、以下に取り組む。

- (1) 学び方を学ばせる視点のもと、主体性を引き出す深い学びを推進し、批判的な思考を通して、本質を粘り強く追究しようとする探究的に学びとる力の育成に努める。
- (2) 自己実現を図る進路目標の設定とその達成に向けた取組を支援し、自分の立ち位置を知り、自己の可能性を切り拓く意欲の醸成に努める。
- (3) 部活動や学校行事、学校外活動など、様々な経験ができる機会を提供し、他者を思いやり認め合いながら、人との関わりの中で成長できるよう努める。
- (4) P T A・同窓会・地域・高等教育機関などとの連携を深め、国際バカロレアの趣旨を生かすなど、時代のニーズに応える特色ある教育活動の構築と推進に努める。

制服検討生徒 WG

制服についてのアンケート(回答結果)

※表の中の数字はすべて人数

BLENDにて、制服についてのアンケートを実施しました。その集計結果は以下の通りです。

実施日	令和8年2月2日(月)15:30～2月5日(木)17:00	
対象者	生徒	1、2年次(対象人数 337名、既読人数 336名、回答人数 324名)
	保護者	1、2年次(対象人数 373名、既読人数 344名、回答人数 231名)
	教職員	全職員(既読人数 41名、回答人数 30名)

【質問1】現在の甲府西高校の制服を変えた方が良いと思いますか？

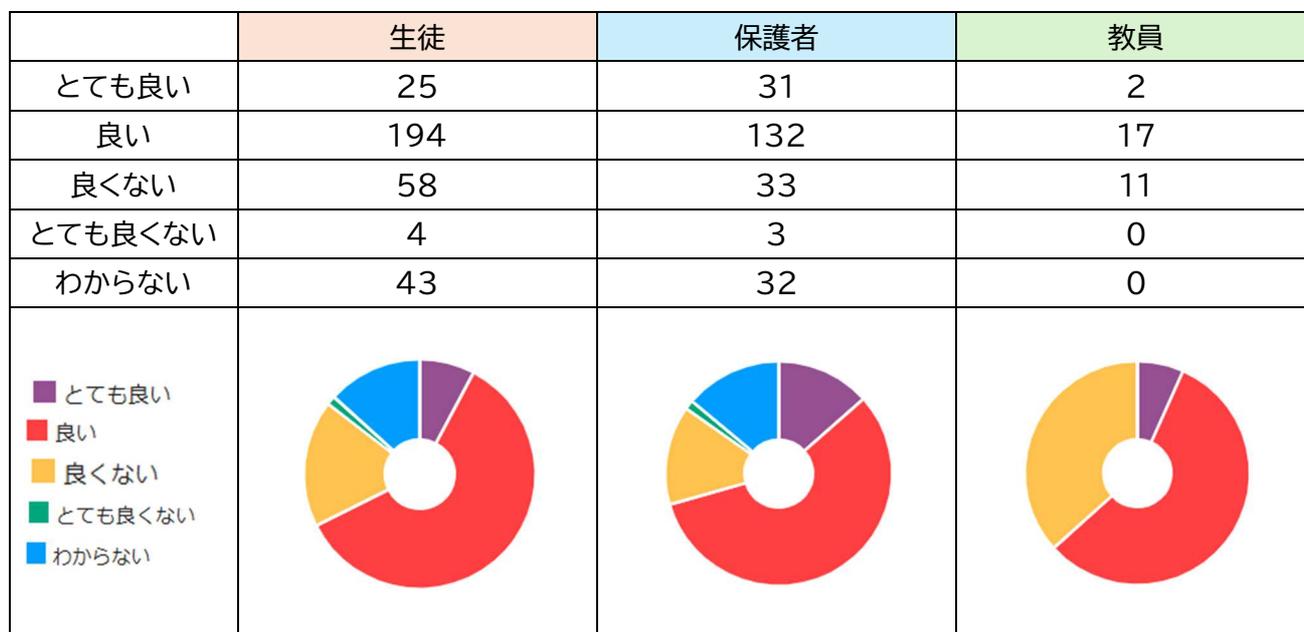
	生徒	保護者	教員
はい	180	98	26
いいえ	144	133	4

■ はい
■ いいえ

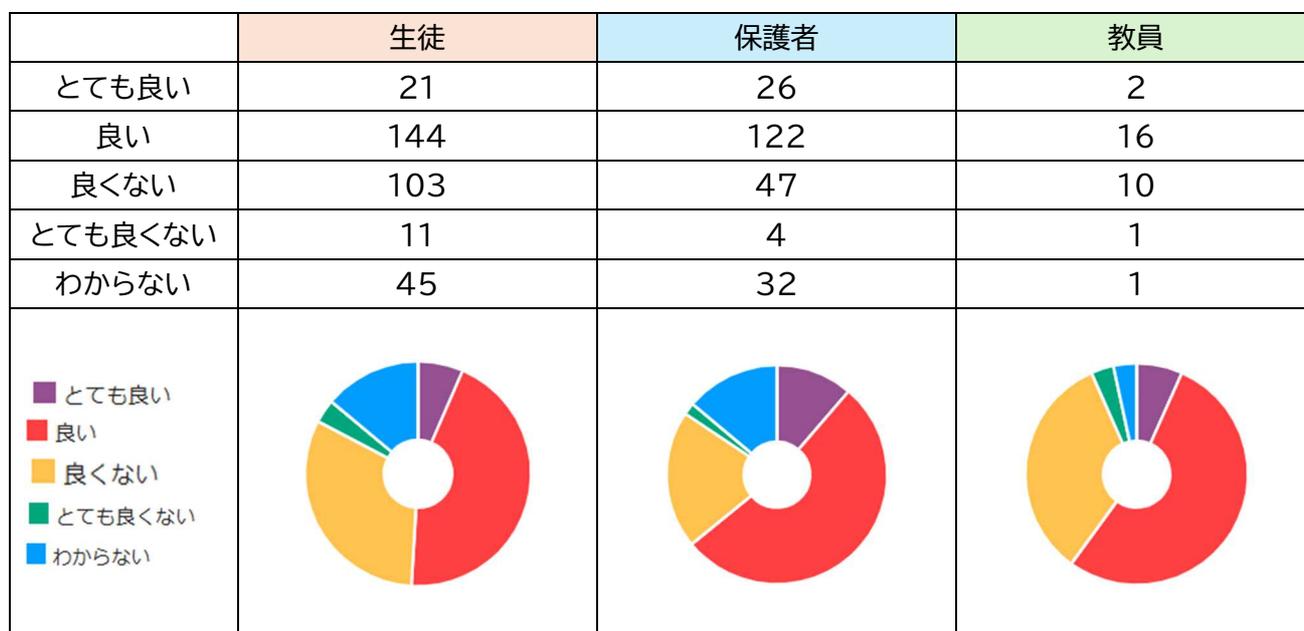
【質問2】質問1で回答した理由を教えてください。

	生徒	保護者	教員
要約	<p>① 制服を変えたほうがよいという意見(変更に賛成)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 志願者数・倍率への影響 2. デザインが古い・地味 3. 学ランへの不満 4. 時代・価値観への対応 <p>② 制服を変えなくてよいという意見(現状維持)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 不便・不満がない 2. 現在の制服が好き・満足 3. 経済的負担への懸念 4. 制服変更の効果への疑問 <p>③ 一部だけ改善してほしいという意見(部分的変更)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小物・仕様の改善 2. 選択肢を増やす提案 3. 大幅変更ではなく「調整」 <p>④ どちらでもよい・関心が薄い意見</p>	<p>① 制服を変えた方が良い派の意見</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 機能性・着心地の問題 2. 時代性・デザイン性 3. 男女差・多様性への配慮 4. 学校の魅力・志願者増 5. 経済・実用面の見直し <p>② 変えない方が良い派の意見</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 伝統・学校らしさ 2. 不便が少ない・慣れている 3. 経済的配慮 4. 無難さ・公平性 5. 小さな改善で十分 	<p>① 制服を変える派の意見(変更・見直しに賛成)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 時代性・社会の変化への対応 2. デザインの古さ・イメージ改善 3. 志願者・学校広報への効果 4. 機能性・快適性の向上 5. ジェンダー・選択肢への配慮 <p>② 制服を変えない派の意見(現状維持・大きな変更に反対)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 伝統・校風との相性 2. 現行制服への一定の評価 3. 慎重論・判断保留

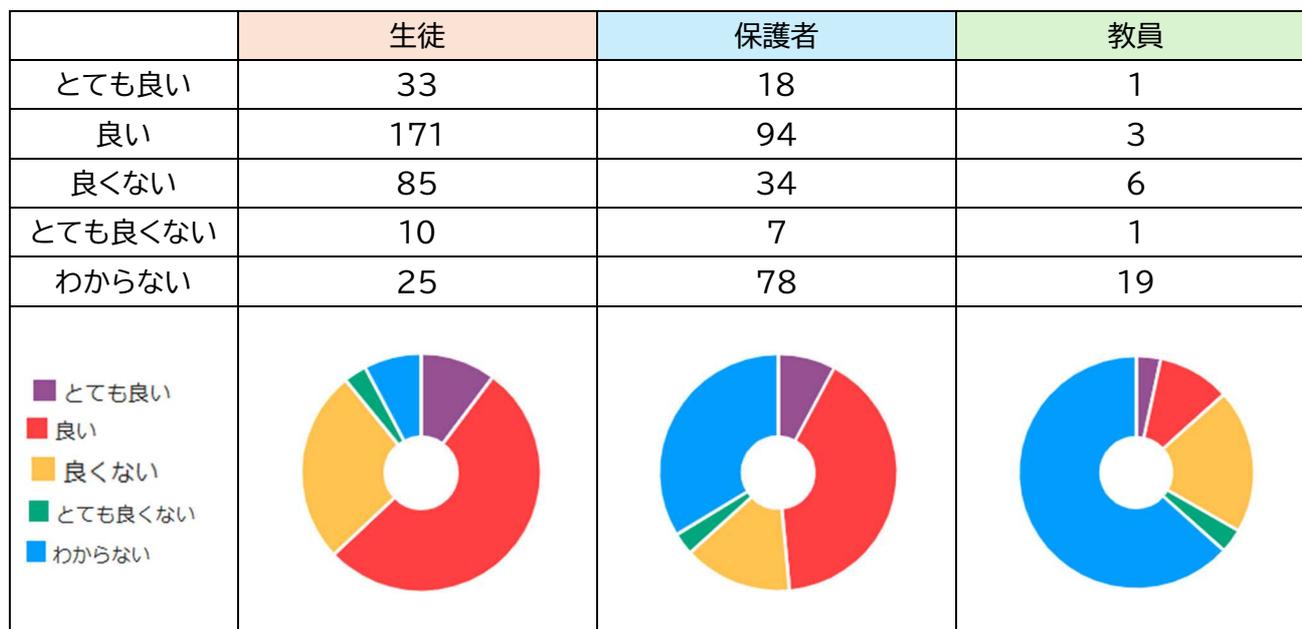
【質問3】現在の甲府西高校の制服の【シルエット(全体の見た目)】について、あなたの意見を教えてください。



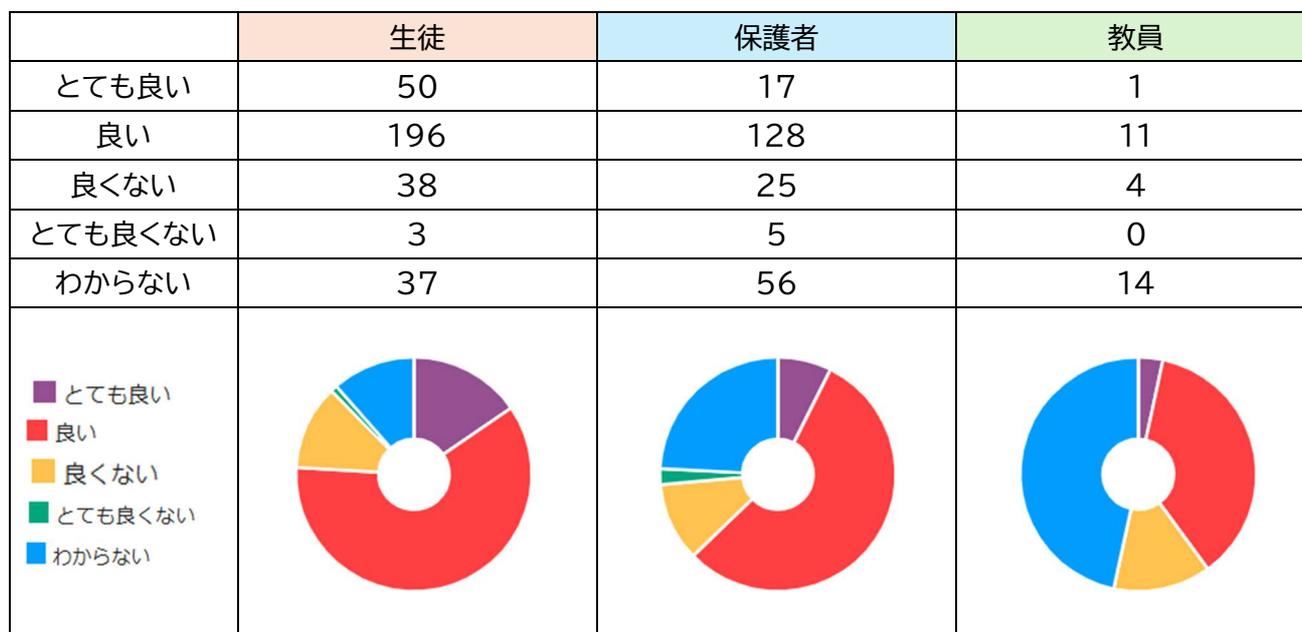
【質問4】現在の甲府西高校の制服の【デザイン(装飾など)】について、あなたの意見を教えてください。



【質問5】現在の甲府西高校の制服の【着心地・動きやすさ】について、あなたの意見を教えてください。



【質問6】現在の甲府西高校の制服の【機能性・耐久性】について、あなたの意見を教えてください。



【質問7】現在の甲府西高校の制服の【扱いやすさ(洗濯や保管等)】について、あなたの意見を教えてください。

	生徒	保護者	教員
とても良い	37	23	2
良い	168	143	6
良くない	58	32	3
とても良くない	5	3	0
わからない	56	30	19

			
--	---	--	---

【質問8】現在の甲府西高校の制服の【価格】について、あなたの意見を教えてください。

	生徒	保護者	教員
ちょうど良い	74	95	8
安い	12	6	2
高い	127	93	8
わからない	111	37	12

<ul style="list-style-type: none"> ■ ちょうど良い ■ 安い ■ 高い ■ わからない 			
---	---	--	---

【質問9】 質問3～8について、具体的に書きたいことがあれば記載してください。

	生徒	保護者	教員
要約	<p>① ネクタイ・リボンの仕様変更に関する意見(最も多い) ▶「付け方・素材の機能性と見た目の改善」への要望が集中</p> <p>② スカートのデザインに関する意見 ▶「チェック柄」への変更要望が特に多い</p> <p>③ 制服全体のデザイン・見た目に関する意見</p> <p>④ 学ラン・男子制服に関する意見(男子のブレザー着用を提案する声)</p> <p>⑤ 機能性・着用ルールへの要望(夏のジャージで過ごせる期間を延ばしてほしいなど)</p> <p>⑥ 制服の価格・経済的負担に関する意見(男女で制服の価格差の違いなど)</p> <p>⑦ 制服の方向性・全体提案・中学生や他校生から見て魅力的な制服にすべき等</p> <p>⑧ 現在の制服を評価している意見(部分維持)</p>	<p>①価格・指定品 指定品が多く高額。市販品の使用可・アイテム削減を求める声が多い。</p> <p>②着心地・機能性 洗える・動きやすい・温度調節しやすい素材への改善希望。</p> <p>③シャツ・ニット類 シャツが薄く透ける／襟がきつい。ニット・ベストは高価で着用頻度が低い。</p> <p>④スカート・ズボン スカートは寒い・シワやテカリが出やすい。防寒・洗濯耐性の向上やズボンの改善。</p> <p>④学ラン(男子) 安価・耐久性は評価。一方で重く暑い・動きにくいとの声。</p> <p>⑤小物(リボン・ネクタイ) 留め具が使いにくい。紐／ゴム式を希望。</p> <p>⑥方向性 伝統は維持しつつ、実用性重視で見直し。生徒の声を反映し、選択肢は整理。</p>	<p>主な意見</p> <p>① 西高のイメージ形成</p> <p>② 男子学ランの見直し</p> <p>③ 女子制服の機能性改善</p> <p>④ 家庭で洗える・扱いやすい制服の維持</p> <p>⑤ 価格と他校比較</p> <p>意見全体としては、 ▶「伝統を尊重しつつ、特に男子制服や機能面を中心に現代化した新制服を検討したい」という方向性が読み取れる</p>

【質問10】 甲府西高校の制服として求めるものは何ですか？最も近い考えを1つ選んでください。

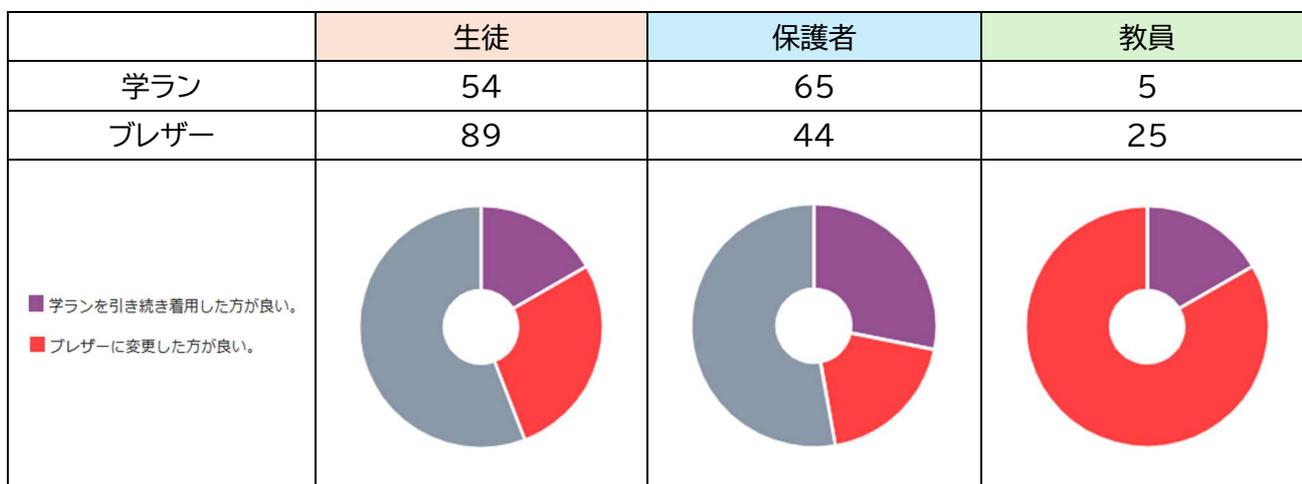
	生徒	保護者	教員
良いデザイン	183	37	14
着心地の良さ	63	89	5
機能性・耐久性の良さ	36	51	3
扱いやすさ	16	18	2
適切な価格	25	27	3
その他	1	9	3

	生徒	保護者	教員
<p>■ 良いデザイン</p> <p>■ 着心地の良さ</p> <p>■ 機能性・耐久性の良さ</p> <p>■ 扱いやすさ</p> <p>■ 適切な価格</p> <p>■ その他</p>			

【質問 11】 質問 10 で「その他」を選んだ場合、具体的にその内容を記載してください。

	生徒	保護者	教員
要約	<p>①デザイン面 制服は学校生活の楽しみや学校の印象に関わるため、シンプルすぎる現状を見直し、柄の追加やブレザーの刷新などで見た目の魅力を高めたい。</p> <p>②スカート 女子のスカートは無地よりもチェック柄の方が好まれやすいという意見がある。</p> <p>③ネクタイ・リボン ワンタッチ式ではなく、自分で結ぶネクタイや紐タイプのリボンが望ましい。</p> <p>④男子制服・統一感 男子もブレザーにし、男女で統一感のある制服にしたい。</p> <p>⑤機能性・安全性 動きにくさは事故の原因にもなるため、動きやすさを重視した制服が必要。</p>	<p>・着心地・機能性重視の意見が多い。学ランは窮屈で動きにくく、暑さ寒さの調整が難しいという声がある。</p> <p>・制服は一日中・一年の大半を着用するものなので、ストレスがなく、動きやすく、耐久性が高いことが重要。</p> <p>・洗濯のしやすさ(速乾・ノンアイロンなど)や、扱いやすさを求める意見が多い。</p> <p>・家庭の立場からは、価格の負担軽減を重視する声があり、物価高を考慮して安価な選択肢を求めている。</p> <p>・生徒目線ではデザイン重視の傾向もあり、制服のデザイン向上が学校の人気につながるとの意見がある。</p> <p>・制服そのものの必要性を疑問視し、私服や併用、選択制を求める声も一部に見られる。</p> <p>・全体として、「西高らしさ」や他校との差別化を意識しつつ、実用性と快適性を高めた制服を望む意見が中心。</p>	<p>・制服は 3 年間着用するものであるため、耐久性や着心地への配慮が必要である。</p> <p>・制服には「西高らしさ」を反映させることが重要だが、その内容や定義については今後議論が必要である。</p> <p>・制服がジェンダー規範を固定化しないよう、多様性に配慮した設計が求められる。</p>

【質問 12】学ランを受け継いだ方が良いか、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(生徒は男子のみに質問)



【質問 13】質問 12 を選んだ理由を記載してください。

	生徒	保護者	教員
要約	<p>学ラン派の意見まとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 経済面・実用性 ② 伝統・西高校らしさ ③ 現状で困っていない ④ 防寒面 <p>ブレザー派の意見まとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 見た目・高校生らしさ ② 着心地・機能性 ③ 時代性・周囲の流れ ④ 志願者・倍率への影響 	<p>学ラン派の意見まとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 経済性・負担軽減 ② 伝統・西高らしさ ③ 実用面(一定の評価) <p>ブレザー派の意見まとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 着心地・機能性の問題 ② 時代性・成長への対応 ③ 見た目・学校イメージ ④ 統一感・多様性 <p>補足(中間的意見)</p> <p>学ランでもブレザーでもどちらでもよいが、実際に着る生徒の意見を尊重すべき。 当面は学ランを残し、将来的なブレザー化を検討するのも一案。</p>	<p>学ラン派の意見まとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 着用感・機能面(調整のしやすさ) ② 好意・愛着・学生らしさ ③ 伝統・継続性 ④ 相対的価値への見方 <p>ブレザー派の意見まとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 時代の流れ・社会的背景 ② 購入負担・実用性 ③ 着心地・快適性 ④ 男女差・多様性への配慮 ⑤ 学校イメージ・進学への影響 ⑥ 保護者・社会的視点

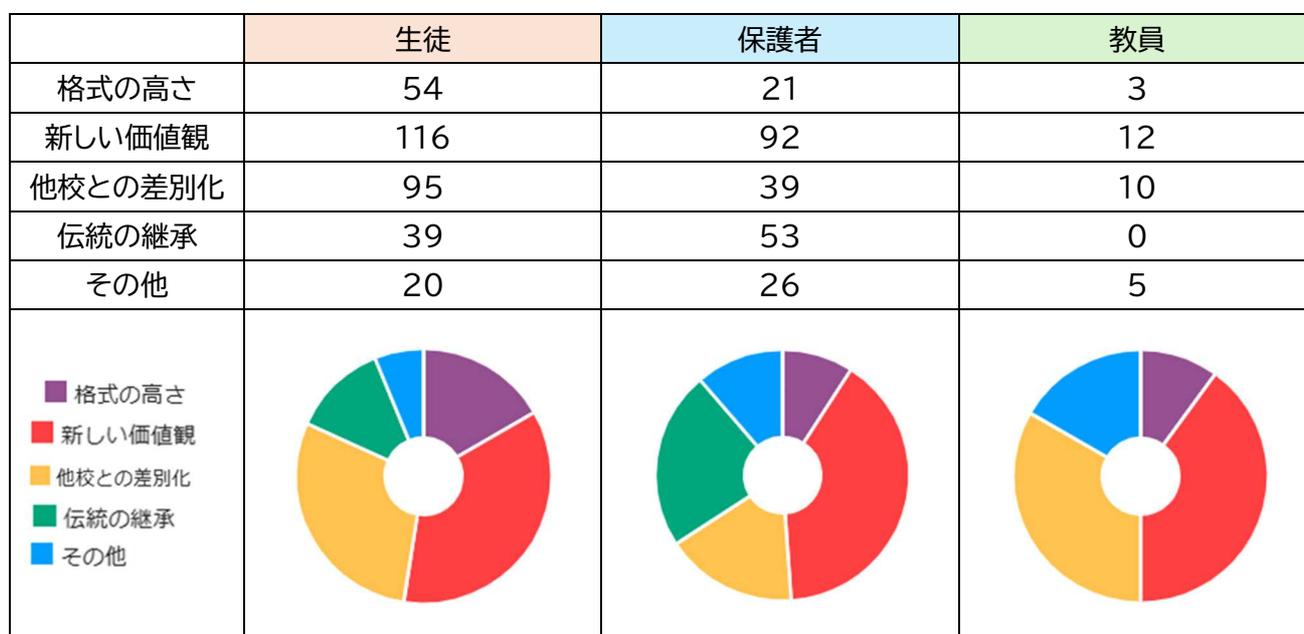
【質問 14】 甲府西高校の制服の在り方として、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

	生徒	保護者	教員
制服を全員が統一して着る	225	165	20
制服を廃止して、私服にする	12	14	4
制服は式典の際などは必須、普段は自由	87	52	6

【質問 15】 質問 14 で回答した理由を教えてください。

	生徒	保護者	教員
要約	<p>① 制服派</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 統一感・一体感・所属意識 2. 規律・風紀・トラブル防止 3. 利便性・時間の節約 4. 学生らしさ・思い出・特別性 5. 平等性・経済面 <p>② 私服派</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 動きやすさ・快適性 2. 個性・多様性の尊重 3. 経済的理由(制服不要論) 4. 学業・生活への影響は少ない <p>③ 制服+私服派</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 式典は制服、普段は自由・体育着 2. 制服は残しつつ選択制に 3. 自由化への慎重意見 	<p>① 制服派</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習に集中しやすい環境づくり 2. 経済的な負担を抑えられる 3. 規律・安全・指導のしやすさ 4. 学校の一体感・伝統の継承 <p>② 私服派</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性・主体性を大切にしたい 2. 気候や体調に合わせやすい 3. 制度そのものへの疑問 <p>③ 制服+私服派</p> <p>※最も多い意見</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「式典は制服、普段は自由」という考え 2. 実用性・健康面を重視 3. 負担を減らしつつ柔軟に 4. 統一感と自由のバランス 	<p>① 制服派</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 帰属意識・アイデンティティ 2. 利便性・負担軽減 3. 公平性・経済面 4. 教育的・社会的意義 <p>② 私服派</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自由・個人選択の重視 2. 経済的理由 3. 教育的観点(式典含む) <p>③ 制服+私服派</p> <p>※全体として最も多く見られる立場</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基準服として制服を残す 2. 私服可・自由度の付与 3. 合意形成・現実的配慮 4. 学校イメージ・差別化

【質問 16】 制服を変えるコンセプトとして、どのようなことを期待・希望しますか？最も近い意見を1つ選んでください。



【質問 17】 質問 16 で「その他」を選んだ場合、具体的な内容を記載してください。

	生徒	保護者	教員
要約	<p>多くの意見は「見た目の改善」「機能性の向上」「時代に合った変化」に集中している。</p> <p>伝統を完全に否定するのではなく、伝統＋現代性＋差別化を求める声が多い。</p> <p>・制服は「学校のイメージ」「志願者数・倍率」「生徒の満足度」に影響する重要な要素だと捉えられている</p> <p>▶「西高らしさを残しつつ、今の時代に魅力的で着やすい制服へアップデートしたい」という意見が全体の核になっています。</p>	<p>①現状維持・伝統重視 西高らしさや伝統を大切にしたい、特に変える必要はないという意見が多い。</p> <p>②機能性・快適性の重視 通学距離や荷物の多さ、温暖化を踏まえ、動きやすく・清潔感があり・暑さ寒さに対応できる服装を求める声が目立つ。</p> <p>③自由度・多様性への配慮 性別・宗教・体質などに配慮し、服装の自由度や選択肢を認めるべきという意見がある。制服をなくしてもよい、私服併用でもよいという考えも一部に見られる。</p> <p>④デザイン・差別化 どこも似た制服ではなく、西高ならではの個性や魅力を出したい。女子制服は特にリニューアルで志願者増につながる可能性があるとの指摘。</p> <p>⑤将来志向・学校魅力 伝統を継承しつつも、新しい時代に遅れない姿勢が必要。制服は学校選択の要素になり得るため、快適さ・見た目の良さも重要。</p>	<p>・これまでの制服でやってきた実績があり、基本的には変える必要はないという意見がある。</p> <p>・制服は遠くからでも西高生だと分かる識別性が重要であり、学校の象徴であるべき。西高らしさや生徒が抱く学校イメージを大切にしたい。</p> <p>・伝統は継承しつつ、過度なオプションを排した基準服としての制服を望む声がある。</p> <p>・県内有数の伝統校としての重みを感じさせながらも、現代性を取り入れたデザインが望ましい。</p> <p>・一時的な流行に流されず、5年・10年先を見据えた普遍的な制服を目指すべき。</p> <p>・西高の魅力を引き立てる適度な新しさが必要。</p> <p>・ジェンダー規範を固定化しない配慮も重要である。</p>